

令和7年度（第16回）三重県消防協会紀北支会合同訓練 実施要綱

1 目的

消防団員は、地域の消防防災のリーダーとして、地域に密着し、住民の安心安全を守る重要な役割を担っている。

災害時には消防署との連携による、迅速的確な消火活動や救助活動などの対応が重要であり、日頃から訓練を積み重ねておくことが必要である。

このため、消防団員として災害活動に必要な知識及び技術を習得することを目的に合同訓練を実施する。

2 日時

令和7年10月12日（日）9時00分～12時00分

3 場所

晴天時：有久寺周辺道路（紀北町島原地内）

※ 少雨決行

4 主催

三重県消防協会紀北支会

5 訓練参加者

（1）各市町消防団員

尾鷲市 40名程度

紀北町 40名程度

計 80名程度 ※当日人員変更有り

（2）指導員（消防職員）

20名程度 ※当日人員変更有り

6 服装

（1）各市町消防団員

作業服、略帽、ヘルメット、編上げ靴、軍手 or 革手

（2）指導員（消防職員）

活動服、略帽、ヘルメット、編上げ靴、革手袋

7 訓練内容

火災防ぎょ訓練

（1）第1想定 中継送水訓練

① 訓練準備

給水予定場所から給水のうえ、火災防ぎょ訓練（中継送水訓練）を実施する。

② 訓練実施要領

下図のとおり資器材を配置した状態で待機し、指導員の想定（火点場所、延長経路）をもとに訓練を開始する。

各ポンプに職員を配置し訓練指導を行う。

中継送水の要領に注意して延長する。

訓練終了後、資器材撤収し検討会を行う。

訓練体系図

可搬ポンプの位置にホースを用意し、延長、結合、中継送水の訓練を行う。

- ① ～② ホース 3 本
- ② ～③ ホース 3 本
- ③ ～④ ホース 3 本
- ④ ～⑤ ホース 3 本
- ⑤ ～火点 ホース 2 本



- ・ 給水予定場所



(2) 第2想定 長距離延長訓練

① 訓練準備

火災防ぎょ訓練（長距離延長訓練）を下図の場所で行う。

② 訓練実施要領

10人程度の班を作り、ホース10本の延長訓練を実施

確実、迅速な連携の取れた延長を心がける。

延長、結合、撤収を1班ごとに実施

訓練実施予定場所



訓練スケジュール

時間	紀北町消防団	尾鷲市消防団
8:55～9:00	集合整列 指揮者：紀北町消防団副団長	
9:00～9:10	開会 挨拶：三重県消防協会紀北支会長、紀北町長	
9:10～9:20	消防職員による訓練説明及び準備体操	
9:20～9:30	第1 想定準備	第2 想定準備
9:30～10:20	第1 想定訓練及び撤収	第2 想定訓練及び撤収
10:20～10:30	休憩	
10:30～10:40	第2 想定準備	第1 想定準備
10:40～11:30	第2 想定訓練及び撤収	第1 想定訓練及び撤収
11:30～11:40	休憩	
11:40～11:50	閉会 訓練講評：三重紀北消防組合消防本部消防長、三重県消防協会紀北支会長	
11:50～12:00	解散	

※尾鷲市消防団ドローン隊については列外待機とし、ドローン操縦訓練を実施する。